

人と人の未来を繋ぐオープンキャンパス

人間科学科3年 成井ゼミナール 中野 成一

2009年8月2日・22日・23日に行われたオープンキャンパスは、去年に引き続き、今年もたくさんの高校生が大学に足を運んでくれました。受験生の皆さん、「心理学とはどう言う学問なのか?」「心理学には色々な学ぶべき分野がある。」「心理学は日々新しい可能性と発見を秘めた未知の学問である。」と言う事を知つてもらいました。今回は心理学を知らない人も気軽に楽しめる様に知覚、色彩、臨床の様々な心理学の分野から企画を出しました。去年も

ルも色彩の分野から参加して去年よりも参加ゼミが増えて活気があつたと思います。それぞれ分野が違つても同じ「心理学」を通じて受験生の皆さんに私達が普段学んでいる事を来ててくれた受験生や保護者の方々に伝えられたと思います。では、ここで成井ゼミナールが普段している活動内容についてご紹介致しましょう。

まず、このゼミナールでは成井先生を筆頭にとても優秀な学生達が日々努力し一生懸命に勉強しています。ゼミでは、発達心理学と言う「幼児のころから老人に至るまでに、心がどのように発達、変化するのかを勉強する学問」を学んでいます。その中でも青年期と言う子供でも大人でもないこの時期にはどの様な事を考え行動するのか、まさに高校から大学生のこの時期の一人一人の課題を見つける克服していくのかを勉強しています。その他にも箱庭療法は

2009年8月2日・22日・23日に行われたオープンキャンパスは、去年に引き続き、今年もたくさんの高校生が大学に足を運んでくれました。受験生の皆さん、「心理学とはどう言う学問なのか?」「心理学には色々な学ぶべき分野がある。」「心理学は日々新しい可能性と発見を秘めた未知の学問である。」と言う事を知つてもらいました。今回は心理学を知らない人も気軽に楽しめる様に知覚、色彩、臨床の様々な心理学の分野から企画を出しました。去年も

このイベントに参加した成井ゼミナールは、今年も臨床の分野から箱庭療法とコーラージュを行いました。去年と違う所は最初イリュージョンライブの中で参加させてもらっていたのですが、今年は成井ゼミナールとして一つの教室を持つて参加出来た事です。成井ゼミが活動を行った場所は、7号館です。他にも三星ゼミナー

やピアカウンセリングや夢分析など勉強し内容的にもかなり濃密になっています。箱庭療法(sand therapy)とは、砂箱といくつかのミニチュア玩具を用いて、人の内界にあるイメージを具体的な形象に具現化した作品を作つて行く事によって、自分の知らない内面を自らの力ではかる、優れて治療的な心理療法です。

夢分析とは、その名前の通り、人が見る夢だけを取り上げて行く事によつて、分析を行う心理療法の一つです。

次に、今回のオープンキャンパスでのゼミ活動内容について詳しく述べて行きます。

まず、成井ゼミでは、オープンキャンパスの前日からゼミI生とゼミII生が協力して準備をしました。当日は箱庭療法とコーラージュを受験生の皆に体験してもらい体験した時の感想を聞いたり書いたりしてもらいました。箱庭療法は

先程も紹介しましたが、コラージュについてここで簡単に紹介しておきます。コラージュとは一枚の画用紙に雑誌や折り紙の切り抜きを張つたりクレヨンやペンで好きな絵を描いたりして誰にも分からぬ「自分だけの内面世界」を作つて楽しんでもらうためのものです。このコラージュは、コラージュ療法と呼ばれ芸術療法の一つに入ります。この二つの出し物で数ある心理学の分野から臨床心理学を体験してもらいました。オープンキャンパスでは、全体的に高校2年から3年までが多く、一人で説明会に来た高校生、友達と一緒に来た人、保護者と一緒に来た人もいました。中には高校1年生から説明会に来ている人もいて驚きました。来ててくれた人達になぜオープンキャンパスに参加したのか聞いてみると、「心理学に興味があるから」「今、色々迷つていてとりあえず来てみた」など、まだ進路についてはつきりしている人が少なく「不安や焦りがあります」と答えてくれた学生もいました。ゼミ生達は、箱庭療法やコラージュが分からぬ人達のために丁寧に説明したり、来てくれた人が作る箱庭を横から見守り、なかなか箱庭を作れない人のためにアドバイスをしたりしました。コラージュを作っている人に積極的に話しかけて緊張を解してあげたりコ

ミニニケーションを図つたりして慣れない中良く先輩たちのカバーをしながら頑張ってくれました。その効果もあつたのでしょうか、最初緊張して顔が強張つていた学生達も笑顔で箱庭やコラージュを作る事に夢中になつていた人もいれば、真剣に考えて作品を作る事に夢中になつていた人もいました。体験して見ると、「箱庭を作つて楽しかった」「心理学に対して抱いていたイメージが変わった」「すごく楽しかったし心理学に興味が湧きました」などの嬉しい感想を言つてくれました。こういう、心理学のイメージや関心を少しでも広げられた事に私達が去年から参加している大きな意味を感じられます。人間科学部は、心理の分野スポーツの分野、社会の分野がありますが学部自体まだまだ新しいので将来、この学部に入つて来る学生達にどんどん新しい可能性に挑戦して学部と自分自身を成長させてもらいたいと感じました。私達が日々勉強している臨床の分野は歴史が浅くアメリカに比べるとまだまだ未発達な部分が多い段階ですが今回のオープンキャンパスに来て何となく心理学に興味をもつてくれた学生達も含めて色々な人達に広げられたらと思いました。

